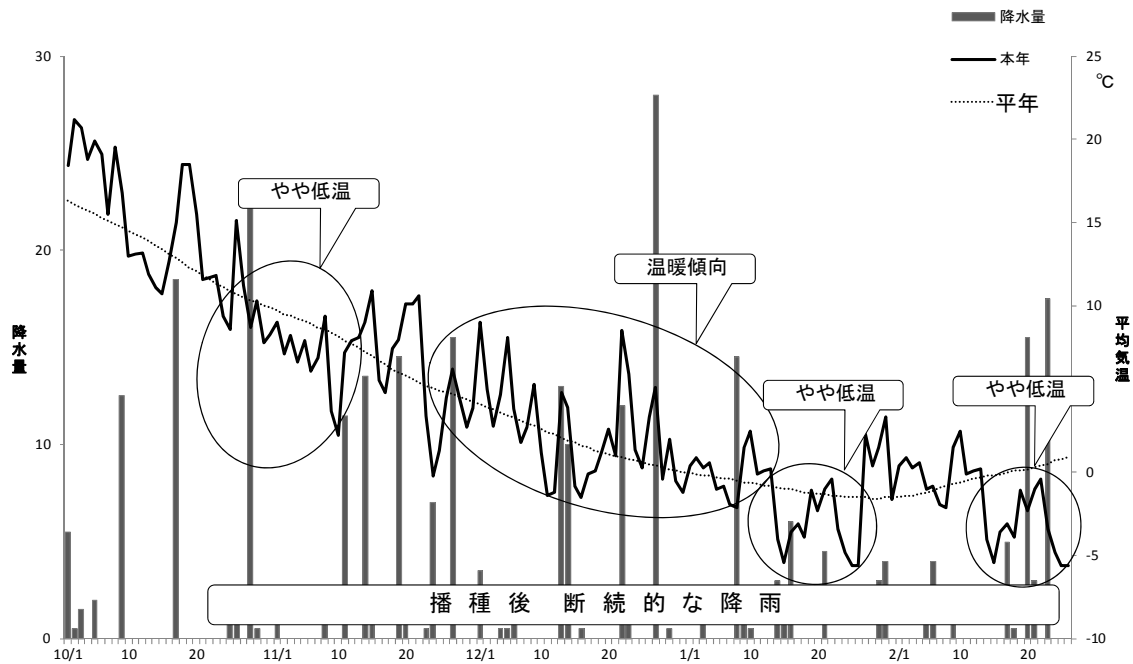


# 平成29年 作物技術普及情報 第2号

## (麦の生育状況・雑草防除、水稻種子の浸種作業について)

平成28-29年 麦 気象経過(穂高アメダス 2月末現在)



### 1 気象状況

- ・ 1月下旬まで温暖傾向で推移しましたが、その後寒暖が交互に繰り返されました。

### 2 麦の追肥

- ・ 昨年、11月中旬以降に播種され茎数が極端に少ない圃場では、既に1回目の追肥もされていることと思います。生育状況に応じて順次追肥時期に入ってきますので、適期に追肥をして茎数の確保をお願いします(追肥については技術情報1号をごらんください)。

### 3 これからの麦の雑草防除

- ・ 麦圃場でスズメノテッポウなどが残草し繁茂すると、雑草により肥料がすわれ追肥の効果が劣ったり、麦の生育が劣って減収する場合があります。また収穫作業に支障を来す場合もあります。

また近頃、カラスノエンドウが目立つ圃場が見られます。麦と一緒に収穫すると収穫物に種子が混入し除去できなくなります。

- ・ 圃場の残草状況を確認して、雑草が多い場合は、麦の生育期処理（茎葉処理）に登録のある除草剤による雑草防除をお願いします。
- ・ 詳細は「3月以降の麦類の雑草防除について」をご覧ください。
- ・ また、ネズミムギ（イタリアンライグラス）、ヤグルマギク、クジラグサ・ヒメアマナズナ等の帰化アブラナ科雑草の発生している圃場が見られます（草姿は別添資料「麦ほ場の帰化雑草」もご参考下さい）。

これらの雑草は、麦畑に侵入し、一端広がってしまうと防除が困難なので、圃場・畦畔で見つけ次第、除去してください（きれいだからといって畦畔に残さないようにしましょう）。

#### 4 水稻の浸種作業について

- ・ これから浸種作業が始まります。浸種作業は発芽遅れや発芽ムラを防止する重要な技術ポイントの一つなので、基本事項を守り丁寧な管理をお願いします。
- ・ 詳細は「水稻種子の取り扱いは丁寧に」をご覧ください。